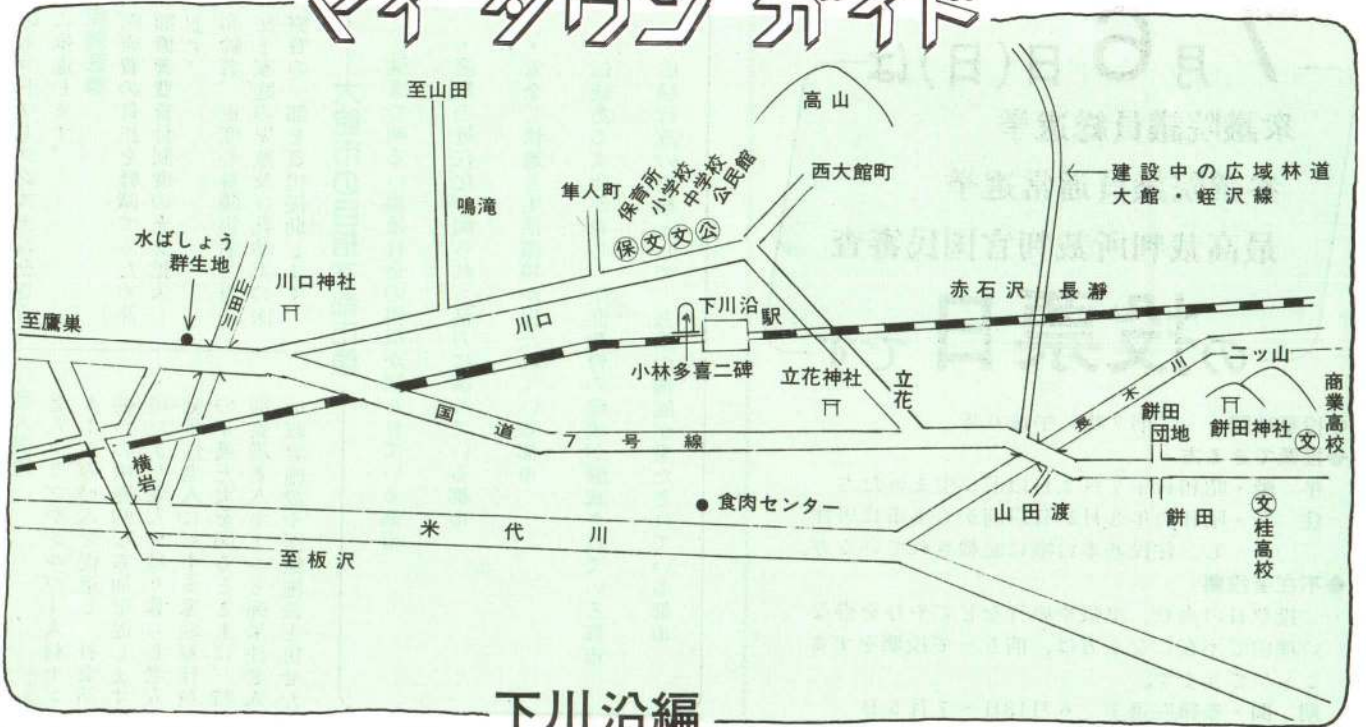


マイタウンガイド



下川沿編

整備が進む川口小・下川沿中学校



▲左が川口小で右が下川沿中

今年度はグラウンドの整備

昭和五十九年度から下川沿中学校、川口小学校の整備が進められています。

中学校は、五十九年度に校舎が、六十年度に屋内体育館が完成。また、小学校は、六十年度に校舎が完成しました。今年度は中学校がグラウンド、小学校は屋内体育館とグラウンド、花壇などの建設が十月ごろ完成に向け進められます。

両校のゆったりとしたスペースで勉強している子供たちと、PTAの方たちから「新校舎についての感想」をいただきました。

新校舎に入って半年間

中嶋真紀子さん (川口小・六年)

新校舎に入りもう半年が過ぎま

した。私たちには整い過ぎた環境だったので最初はとまどいましたが、みんなで話し合い答えを出していくうちに、住みやすくなった学校が、とても住みやすい学校になりました。この学校に入りもう半年だけれど、どんどん新しい利用方法を見つけたし、この校舎を思いきり使いたいと思います。

活用に期待する

工藤辰雄さん (川口小・PTA)

そーっと戸を開けて、隣の教室を盗み見た思い出が一遍に消えてしまった。廊下側にあるはずの戸や壁がなくなる見えなのである。「これがオープンスペースというものか」、教室についての固定観念が流されてしまった。開放的な中で子供たちは伸び伸び勉強している。合同授業、他クラスとの交流等、活用を大いに期待したい。

新校舎完成の喜び

鎌田則子さん (下川沿中・三年)

新校舎が完成してからは、はや一年が過ぎました。

今は姿・形のない旧校舎から移転作業をした時だけれどもこれからの学校生活に希望を持ち、心の奥にある喜びをかくすことができなかったでしょう。

私たち生徒は、すばらしい校舎が出来たことに誇りを持ち、勉強に生活になおいつそう努力していきたい。

新校舎に思う

今 時子さん (下川沿中・PTA)

わが下川沿地区は五十九、六十年とひき続き小・中学校が新築となり、地域住民一同心から感謝している次第です。特に中学校は女子バレーボール全国優勝校として知られていますが、すばらしい伝統を引きついで子供たちが新校舎に恥ない下中生となり、新しい伝統を作るべく一歩一歩前進されることを一同願ってやみません。

われらサークル仲間

～餅田水稻集団栽培組合～

春の苗作りから秋の収穫まで、すべて組合員による集団作業——餅田水稻集団栽培組合は、昭和44年に60戸の組合員でスタートしました。そして昨年からは、いま評判の「秋田こまち」の栽培にも取り組んでいます。「集団化したことにより大型機具を導入することができ、作業の効率化や経費の節減をすることができました。また組合員同士で意見交換しあう機会も多くなり、稲作技術の向上にもつながっています」と会長を務める高清水勇さんは話していました。

